

奨励 《主よ、いずこへ向かわれるのか》

九州バプテスト神学校 校長 城前和徳



全国壮年会連合に連なる諸教会・伝道所の皆様、日本バプテスト連盟の3神学校（西南学院大学神学部、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校）を覚え、いつも祈りとお支えをありがとうございます。心より感謝申し上げます。

九州バプテスト神学校は今年「創立30周年」を迎え、実行委員会を立ち上げ準備を進めています。記念行事として、2018年9月17日（月・祝日）に記念式典（感謝礼拝、演奏会、祝会、講演会）を計画し、また記念誌発行の準備をしております。この働きのために150万の献金目標を目指しております。皆様の祈りに付け加えていただければ感謝です。

九州バプテスト神学校では、創立20周年に記念事業として、「神学校の使命と目標」を作成し、今に至るまで神学校の指針として歩んできました。

特に「主において、教会と共に、教会に仕える神学校」と謳い、「教会と共に、教会に仕える」まさに「キリストのからだ」なる教会に仕える人材の育成に努めていきたいとの祈りをもって、主にある業を動めています。しかし、今日「教会」そのものについて既成の考えでは通用しない課題が山積しているのも事実です。まさに「教会と共に、教会に仕える」ことは自明のことではないことを示しています。そのような只中において、何を教会・伝道所と分かち合おうとしているのか!! 急務な課題です。

「わたしは福音を恥としない」（ローマ1：16）、「御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くて悪くても励みなさい」（Ⅱテモテ4：2）との御言葉に聴きつつ、今一度、原点に立ち返り、「主よ、いずこへ向かわれるのか!!」の問いかけと祈りをもって、主の招きに応じての一步一步の歩みを続けて行きたいと願います。

2018年度神学校週間にあたって 全国壮年会連合副会長（神学校献金推進担当）三室日朗（西南学院バプテスト教会）

「各教会の壮年会等が相互の啓発をはかり、交流親睦を深めると共に伝道活動を積極的に協力し合うこと」を目的とする全国壮年会連合は、伝道者養成のための「神学校献金（神学生奨学金献金）」活動を推進しています。「神学校週間」（今年度は6月24日（日）～7月1日（日））は神学生のことを覚え、支えるために、全国の壮年が心を一つにする大切な一週間です。福岡地方連合壮年会では、毎年西南学院大学神学部・神学生のチャペル委員会と共催で神学校週間直前の金曜日に、九州バプテスト神学校や、福岡連合に属する教会・伝道所の信徒の方々と共に大学の神学寮に集い、「神学校週間を覚える集い」を開催し、祈りと感謝の時を持っています。こうした働きが各地で開催できればと願っています。

しかし、「神学校献金」推進は決して壮年たちだけの業ではありません。女性連合は「世界祈禱週間献金」を通して海外への宣教師派遣を推進していますが、その宣教師たちも神学生時代、私たち壮年が推進する神学校献金によって支えられていたのです。女性・男性の別なく、主に仕える信徒の一人として神学校献金と世界祈禱週間献金をあげましょう。そのために、自分は何をすることができるのか、もう一度問い直してみませんか。

西南学院大学神学部、東京バプテスト神学校、九州バプテスト神学校に学ぶ神学生を支えるには「3,000万円」の神学校献金は絶対必要な金額なのです。毎年壮年会事務局から発表される「神学校献金・会費一覧」に「神学校献金：0円」があるのはとても残念なことです。協力伝道を大事にするバプテスト連盟諸教会にあっては、大いに反省すべきことです。神学生時代に奨学金制度を利用した皆さんにお願いです。率先して「神学校献金」に取り組んで頂けないでしょうか。そして今年こそ「神学校献金：0円」の教会をなくしましょう。

神学校献金（神学生奨学金献金）の推移

年度	献金額
2010年度	2,325万円
2011年度	2,345万円
2012年度	2,228万円
2013年度	2,292万円
2014年度	2,284万円
2015年度	2,227万円
2016年度	2,235万円
2017年度	2,299万円

西南学院大学神学部及び東京・九州両バプテスト神学校で学ぶ神学生 神学生氏名（学年、よみ、推薦教会）

【西南学院大学神学部】 19名 <2017年度奨学金貸与者数：14名>	
博士後期	城 俊幸(3年・たちとしゆき・西戸崎(牧師))
博士前期	元川信治(2年・もとかわ しんじ・調布)、平野健治(2年・ひらの けんじ・大井)、永山辰原(2年・ながやま ときはら・福岡西部)、伊原幹治(2年・いはら かんじ・福岡ベタニヤ村)、川久保拓也(1年・かわくば たくや・ふじみ野)、杉本拓哉(1年・すぎもと たくや・宇都宮)
学部神学コース	黄 善植(4年・ふあん そんちよん・単立 福岡盤石)、小櫻 信(4年・こざくら まこと・大阪)、高橋周也(4年・たかはし ひろや・花小金井)、西本詩生(4年・にしもと しなる・恵泉)、安里道直(3年・あさと みちなお・東風平)、嶋田健治(3年・しまだ けんじ・直方)、奥村献(3年・おくむら ささぐ・恵泉)、原田 仰(1年・はらだ こう・平尾)
選科	原田 賢(3年・はらだ けん・大宮)、千葉仁志(1年・ちば ひとし・小倉春ヶ丘)、藤原紅葉(1年・ふじはら もみじ・平尾)
神学部研修生	林 守鎮(いむ すじん・鳥飼)

【東京バプテスト神学校】 11名 <2018年度奨学金支給予定者数：4名(第1回連盟理事会にて決定)>	
神学専攻科	林 雄植(いむら しんじく・渋谷)、中根 浄(なかね きよし・花小金井)、大野 夏希(おおの なつき・大泉)、陳 ビルラン(ちん びるらん・茂原)、芦沼 光雄(あしぬま みつお・ふじみ野)、清水智子(しみずさとこ・洋光台)、藤原靖彦(ふじわらやすひこ・港南めぐみ)、舛田栄一(ますだえいいち・洋光台)、吉村知子(よしまらともこ・八王子めじろ台)、郭淑(大和愛宣教)
教会音楽専攻科	澤田ルツ子(さわだ るつこ・千葉)

【九州バプテスト神学校】 8名 <2018年度奨学金支給予定者数：1名(第1回連盟理事会にて決定)>	
牧師コース	香月太郎(かつき たろう・早良)、竹下由美子(たけした ゆみこ・単立なごみグレースチャーチ)、田口清吾(たぐち せいご・岐阜)、飛永 孝(とびなが たかし・姪浜)、後藤 寿(ごとう ひさし・各務原)、安樂雅美(あんらく まさみ・単立バプテスト望教会)、稲川 仁(いながわひとし・宝塚)、小林孝宏(こばやしとかひろ・鹿島)

【神学校献金(神学生奨学金献金)について】

【名称】神学校献金は従来から、西南学院大学神学部で学ぶ神学生(大学院生も含む)の授業料と生活費の一部を支えるため、奨学金という形で用いられてきましたが、2012年の連盟定期総会において連立立等の神学校で伝道者となるために学ぶ神学生にも用いられることになりました。そこで「神学校献金」の使途を明確にするため、2013年度より「神学校献金(神学生奨学金献金)」という名称に変更いたしました。

【使途】西南学院大学神学部神学生の奨学金並びに東京バプテスト神学校(専攻科)及び九州バプテスト神学校(牧師コース)で伝道者になるために学ぶ神学生に用いられています。

【内容】西南学院大学神学部神学生には1種奨学金の貸与と2種奨学金の給付をしています。東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校の神学生には、授業料の一部を奨学金として支弁しています。

【返還】西南学院大学神学部神学生の1種奨学金は貸与ですから、返還の義務があります。ただし、卒業後4年以上伝道の業に従事し、卒業後10年以内に1種奨学金の2割以上返還した場合、その残額の返還は免除されます。2種奨学金は給付なので返還の必要はありません(奨学金規程による)。なお東京バプテスト神学校と九州バプテスト神学校の神学生については、両神学校の奨学金規程により返還の適否が判定されます。

【献げ方】毎年6月に行われる神学校週間を用いて献金される教会・伝道所が多いと思いますが、年間を通して神学校献金を献げているところも増えています。全国壮年会連合は本活動を積極的に推進していますので、壮年の皆さまにはぜひ教会に働きかけていただき、教会全体の業となっていくことを期待しています。具体的な働きは『壮年会連合ニュース』などでも紹介しています。